

9月 子どもの様子

さくら組

やっと園庭であそぶことができる気温になり、三輪車乗り、鬼ごっこ、虫探しなど汗をかきながら楽しみました。同時に保育園での最後の運動会に向け、一生懸命に取り組みました。かけっこリレーは昨年より力強い走りになりました。障害走は速さより1つずつ“出来るようにチャレンジしたい！”気持ちが大きく何度も挑戦する姿が見えました。憧れの鼓隊はその太鼓の重さにふらついてしまい、不安がよぎります。それでも全身に力を入れ、1音1音、音が重なり合い、一曲終わると「かっこよかったな」「がんばったでおれ！」ととてもほこらしげです。友達同士「ちょっと遅れてる」「うまいで」「がんばれ」「合わせるで」と声を掛け合い太鼓やシンバルの音を響かせました。



きく組

室内で別のあそびを楽しんでいても、旗体操やバルーンの曲が聴こえるとそれぞれが作った手作りの旗やバルーン代わりにレジャーシートを出してきて、嬉しそうに体を動かした子ども達。初めて本物の旗やバルーンを使って演技をした時にはいつもの笑顔ではなく、とても真剣な表情が見られました。最初は「体を動かすこと」だけが楽しい様子でしたが「リレーで勝ちたい」「バルーンで玉を高く飛ばしたい」などの思いから、友だちを応援したり、一緒に頑張ろうと声をかけ合ったり、協力する姿がどんどん増えてきています。



うめ組

室内あそびでは、おままごと、お買い物ごっこがブームなうめ組。かばんをかけ、お金をもってお買い物。本屋さんやごはん屋さん。「いらっしゃいませ。どれにしますか？」「これください」と友だちとのやり取りを楽しむ姿がみられました。

今月から体操服への着替えがスタート。袖を持って服がひっくり返らないように脱いだら、服を「半分」と言いながら畳んでいます！初めはなかなか脱げなかった服も少しずつ脱げるようになり、自分たちで着脱を頑張っています！！



もも組



夏まつりごっこでは手伝いのお店屋さんに興味を持つ子どもたち。お金と物を交換し「みてー！ちゅるちゅる（やきそば）」「おいしーい！」と食べる真似をしたりと穏やかな時間でした。お客さんから定員さんにも変身！！異年齢児の真似をして、やきそばを作ったり、たこ焼きをお皿の入れたりとなりきってあそぶ姿が印象的でした。

外が涼しくなり、戸外に出てあそびました。戸外に出ると発語も多く気付いたことや自分の思いを言葉にする姿が多く見られます。

上靴を履くようになり、左右の意識や靴の脱ぎ履きも上達しています。



ふじ組

前から部屋にあったままごとコーナーの場所をサークルの中に作り変えてみました。初めはみんなが入りたくて物の取り合いも見られましたが、保育者が仲立ちし“貸して”“ありがとう”のやり取りも少しずつやろうとする姿が増えてきました。ブロックをお皿に並べたりコップに入れてジュースにしたりと自分で考え見立てあそびも広がっています。また体を動かしてあそべる巧技台やマットあそびのコーナーでは登ったりジャンプして飛び下りたりと室内でものびのびと体を動かしてあそんでいます。



まる組

少しずつ友だちとの関わりが増え、そばにいる子の顔を覗き込んだり、頭を撫でてあげるといった優しい姿も見られるようになってきました。あそびの中では「あっ！！」と指を差したり、声やしぐさで保育者に気持ちを伝えようとする姿が増えたり、表現の幅がぐんと広がってきています。

